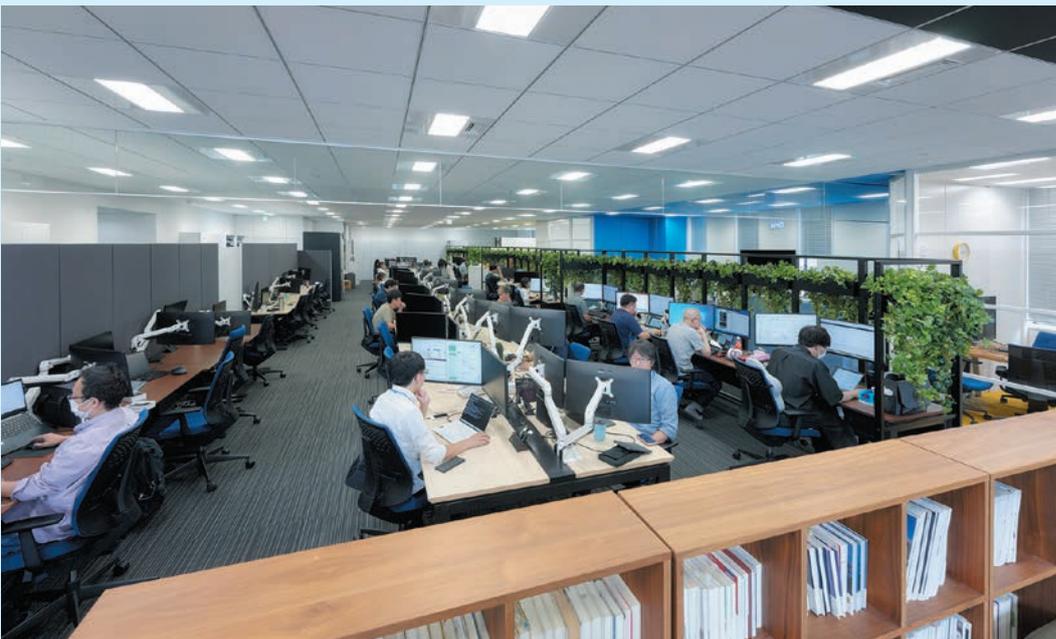


株式会社アジエンダ

主な事業内容…ソフトウェア業、情報処理サービス業、情報提供サービス業、インターネット付随サービス業など  
 本社所在地…北海道札幌市 創業…1990年 従業員数…70人

旅するように働く。  
 今こそ、魅力的な場所に！



オフィスの真ん中に位置する執務スペースは、出社率50~60%を想定した席数で、フリーアドレス。社員一人ひとりにロッカーが支給され、デスク周りは常にスッキリ。背の高い遮蔽物をなくし、室内全体の見晴らしを重視した



会社入り口は、白い壁面に青い会社ロゴが映え、明るく清潔感がある印象。木目調のカウンターで柔らかさを表現し、左側のガラスの仕切りから社内の雰囲気がかがえる

北海道札幌市で30年以上、ソフトウェア開発を行ってきた株式会社アジエンダ。2021年12月に移転した同社の新オフィスは、第35回日経ニューオフィス賞で「北海道ニューオフィス奨励賞（北海道知事賞）」を受賞した。

アジエンダが旅行業界のソフトウェア開発を多数手がけていることから、オフィステーマを「ABW（Activity Based Working）」と設定しているのが特徴だ。ABW（Activity Based Working）とは、社員が働く場所を柔軟に選べるワークスタイルのこと。同社ではオフィスを旅するように移動できる設計にして、社内コミュニケーションを促進したことが評価された。

そもそも移転のきっかけは、コロナ禍で社員の大半が在宅勤務になったことだったが、決して規模を小さくしたわけではない。アジエンダの伊藤智裕社長は、「コロナ禍で出社率が極端に低下したため、逆に会社に行く必要がある魅力的なオフィスを考える必要があった」と語り、従来のオフィスは、「3フロアに分かれており、部署間の交流が希薄だった。

た。これを改善するためにも、120~150坪でワンフロアのオフィスを採ったのだ。

「オフィスは1日の大半を過ごす場所なので、ホッと安心しながら働ける『第2の家』であることが理想です。また、若手社員がこれから長く働き続けたいと思えるオフィスをづくりたかったので、入社5年目までの社員でオフィスづくりのワーキンググループを立ち上げました」

デザインコンセプトは、①自由気ままに気分転換できるオフィス、②人に優しく過ごしやすいオフィス、③ゆったりとした余白があるオフィス、④賑やかなオフィスの4つだ。

「ラングで働きたい」と、道外からも人が集まる

新しいオフィスは真ん中に執務スペースを配置し、周りに多様なスポットをつくった。カフェスペースや芝生エリアでくつろいだり、ボックス席でリラックスしながら打ち合わせをしたり、集中ブースで生産性を高めたり。カプセルホテルで使われている本格的な2段ベッドが、休養・仮眠スペースとして用意されている



「デジタルのものづくりで未来を変える」ために、よりイノベティブな環境を整えたと微笑む伊藤社長

芝生エリアは、座面が低いアウトドア用の椅子やテーブルを置き、リフレッシュスペースに。カジュアルな打ち合わせや、休憩時の飲食スペースとしても使える。終業後にはダーツに興じる社員の姿も



全席にデュアルディスプレイを導入。ノートパソコンとつなげて3画面使用でき、生産性アップに貢献。連結型デスクを採用して中間の脚をなくし、席間隔を広げることなく座席ごとのパーソナルスペースを確保した



社員の交流の場として設けられた「VINTAGE Café」。社内イベントや打ち上げなどにも使う。ソファでくつろいだり、窓際のテーブルで外を見ながら仕事をしたりもできる



ブルーの壁と床が特徴の「AGENDA BOX」。立ったまま打ち合わせができるオープンスペースや、背面の高いソファで個室感のある打ち合わせスペースを配置



カプセルホテル仕様のベッドを導入。2段ベッドになっているため、寝台車のようなしつらえで、これも旅の気分を味わえる

「まず、社員が社外の人におすすめることができるオフィスにしたいというのが目標でした。採用活動においても、ここで働きたいと思ってもらえるような場所にしたかったです」

実際、新オフィスに移転してから採用は順調で、道外からもインターン生が集まる。並々ならぬ力を注いでオフィスを変革した意義として、確実にその効果が表れているのだ。

「業務的なオフィスからおしゃれなオフィスになり、アイデアが湧くようになった」などの声も寄せられている。

「また、社員が社外の人におすすめることができるオフィスにしたいというのが目標でした。採用活動においても、ここで働きたいと思ってもらえるような場所にしたかったです」

「自分のノートパソコンをデスクに接続するだけで、誰がどこに座っているのかが表示されるため、フリーアドレス特有の、社内で人を探す手間がありません。勤怠システムともリンクし、在宅勤務や休みなども表示されるので、非常に便利です」

社員から特に人気が高いのは、カフェスペースと芝生エリアだ。「北側の大きな窓から外を眺めてリラックスできる」「芝生エリアのプロジェクトで昼休みにゲーム大会を行い、交流を図っている」「従来の事務的なオフィスからおしゃれなオフィスになり、アイデアが湧くようになった」などの声も寄せられている。

「自分のノートパソコンをデスクに接続するだけで、誰がどこに座っているのかが表示されるため、フリーアドレス特有の、社内で人を探す手間がありません。勤怠システムともリンクし、在宅勤務や休みなども表示されるので、非常に便利です」

「また、社員が社外の人におすすめることができるオフィスにしたいというのが目標でした。採用活動においても、ここで働きたいと思ってもらえるような場所にしたかったです」